

「家族進学マネー会議のススメ」もチェック!

マネー会議のコツや会議を開くメリット、費用準備の目安時期、奨学金の種類などについて解説しています。

STEP 3 家計の現状を洗い出す

家計から支出できるお金を見積もります。兄弟の有無や家計の状況などによって大きく変わるので、最低限これだけは出せるという金額を設定しましょう。なお、初年度納付金など、入学の前に必要な費用に奨学金は使えないので注意を。

項目	内容	金額(万円)
貯蓄から支出できる金額		
給与から支出できる金額	月平均 万円 × 48か月(4年間)	
学資保険	満期保険金の受取時期 年 月 日	
その他		

祖父母、親族からの援助などがあれば記入しておきましょう

合計(②) _____ 万円

STEP 4 希望を実現する方法を探る

足りない金額を算出し、それを補うための方法と金額を調べます。給付型奨学金は家計状況や学業成績などに所定の採用条件があるので、安易に見積もるのはお勧めできません。また、アルバイトは学業がおろそかにならない程度にとどめましょう。

差額(①-②) _____ 万円

項目	内容	金額(万円)
教育ローン(保護者)		
日本学生支援機構奨学金(本人)	月額 万円 × 48か月(4年間)	
アルバイト(本人)	月平均 万円 × 48か月(4年間)	

STEP 5 返済計画を考える

STEP 4 をふまえて具体的な月々の返済の金額を算出しておきましょう。例も参考にしながら、無理のない返済計画を立てることが重要です。

・教育ローン ※返済例は「国の教育ローン」の場合

返済方式	金利	借入額	返済期間	毎月の返済額
			(年 月 ~ 年 月)	
元利均等返済(例)	固定金利2.25%	1,000,000円	10年 (2025年4月~2035年3月)	9,400円
元金据置*(例)	固定金利2.25%	1,000,000円	10年 (2025年4月~2035年3月)	在学中1,900円 卒業後14,900円

*元金据置...一定期間、金利のみを支払うこと。ここでは在学中は金利のみを支払い、卒業後に元金返済を開始することを想定。

・日本学生支援機構奨学金 日本学生支援機構のWebサイトでシミュレーションを! ※返済例の貸与利率は2024年1月時点

貸与利率	貸与月額	貸与総額	返済期間	毎月の返済額
			(年 月 ~ 年 月)	
利率固定方式1.005%(例)	80,000円	3,840,000円	20年 (2029年10月~2049年9月)	17,746円



ここから大学パンフを取り寄せて、具体的な金額を調べてみましょう!
家族進学マネー会議 ワークシート

家族で開くマネー会議では、このワークシートに書き込みながら進めてみましょう。お金のことが「見える化」されると、プランを立てやすくなります。

STEP 1 希望進路の確認

まずは、子どもの希望進路を確認します。特に費用のプランニングのもとになる以下の項目について、じっくりとヒアリングを。希望がはっきりしない場合は、保護者の思いやアドバイスも交えながら、理想の進路を一緒に探っていきましょう。

- ・第1志望校 国立 公立 私立 _____ 大学 _____ 学部
- ・大学に行きたい理由 _____
- ・併願校 ()校 ・希望する選抜方式 一般 学校推薦型 総合型
- ・通学 自宅 自宅外(一人暮らし) 自宅外(寮)
- ・留学 しない 短期(~3か月) 中期(3か月~1年) 長期(1年~)

STEP 2 かかる費用を調べる

受験から大学卒業までにかかる費用を、各大学のWebサイトや本誌の「大学受験・進学費用のキホン」を参考に書き込んでいきます。志望校によって金額に差がある場合は、高いほうで見積もっておきましょう。

項目	内容	金額(万円)	
受験期	塾・通信講座などの受講費用		
	オープンキャンパス参加費用	交通費・宿泊費	
	大学入学共通テスト検定料	教科 ※2教科以下1.2万円、3教科以上1.8万円	
	国公立大学個別入試検定料	万円 × 校 ※1校当たり1.7万円	
	私立大学検定料	万円 × 校 ※目安は1校当たり3.5万円	
	共通テスト利用入試	万円 × 校 ※目安は1校当たり1.5万円	
	受験時の交通費・宿泊費		
合格~入学まで	初年度納付金* (入学手続き時納付額)	入学金、1年次前期授業料、施設・設備費	
	併願校の初年度納付金* (入学手続き時納付額)		
卒業まで	入学時の費用	教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費	
	学費	1年次後期分	
		2年次以降	万円 × 年
	生活費	万円 × 48か月(4年間)	
	留学費用		
その他	運転免許取得費用、旅行費用、就活費用など		

*初年度納付金の内訳は大学によって異なりますので、必ず確認しましょう。

合計(①) _____ 万円

うち、受験期から入学までに必要な金額 _____ 万円

▼奨学金で賄えるのは入学以降の費用です。